

対面／Webのハイブリッド式ゼミ授業
～3タイプの参加形態確保の試み～

第3回 教学実践フォーラム
国際関係学部・国際関係研究科准教授
越智 萌

2020年1月21日 @zoom

CONTENTS

何をしなければならぬか？

何を・なぜ、事前に決めておいたか？

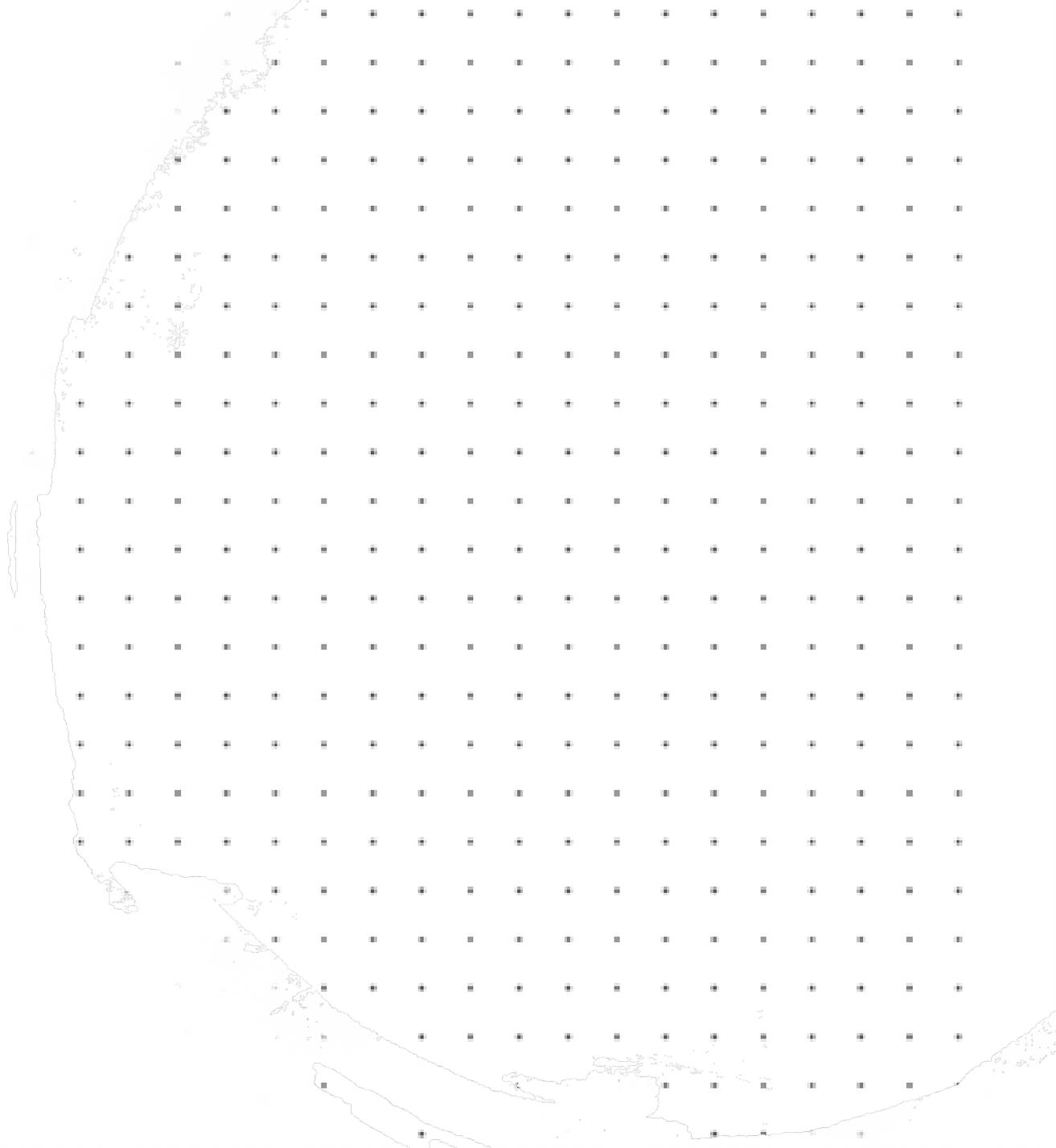
どうやったか？

教員負担減のための工夫

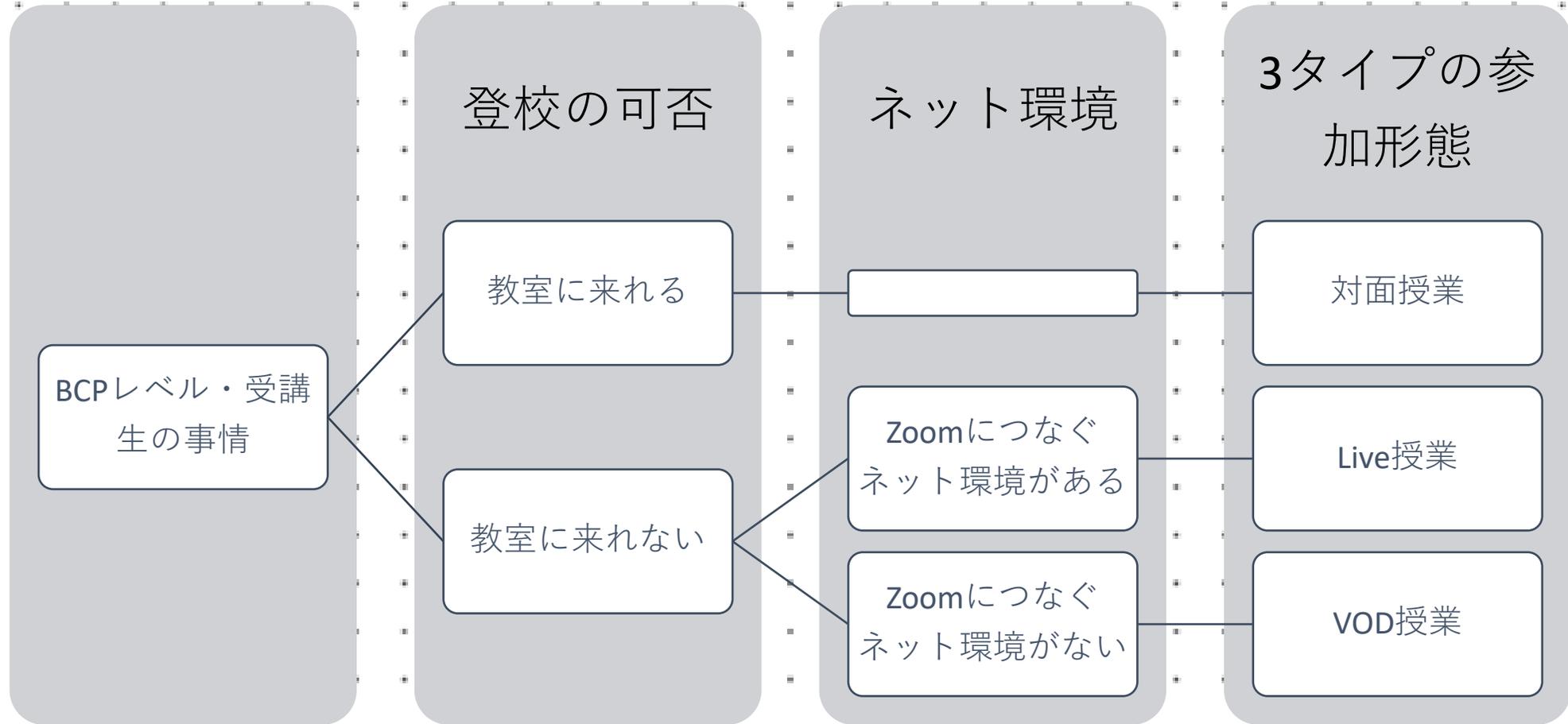
何をしなければならぬか？

どんな授業か

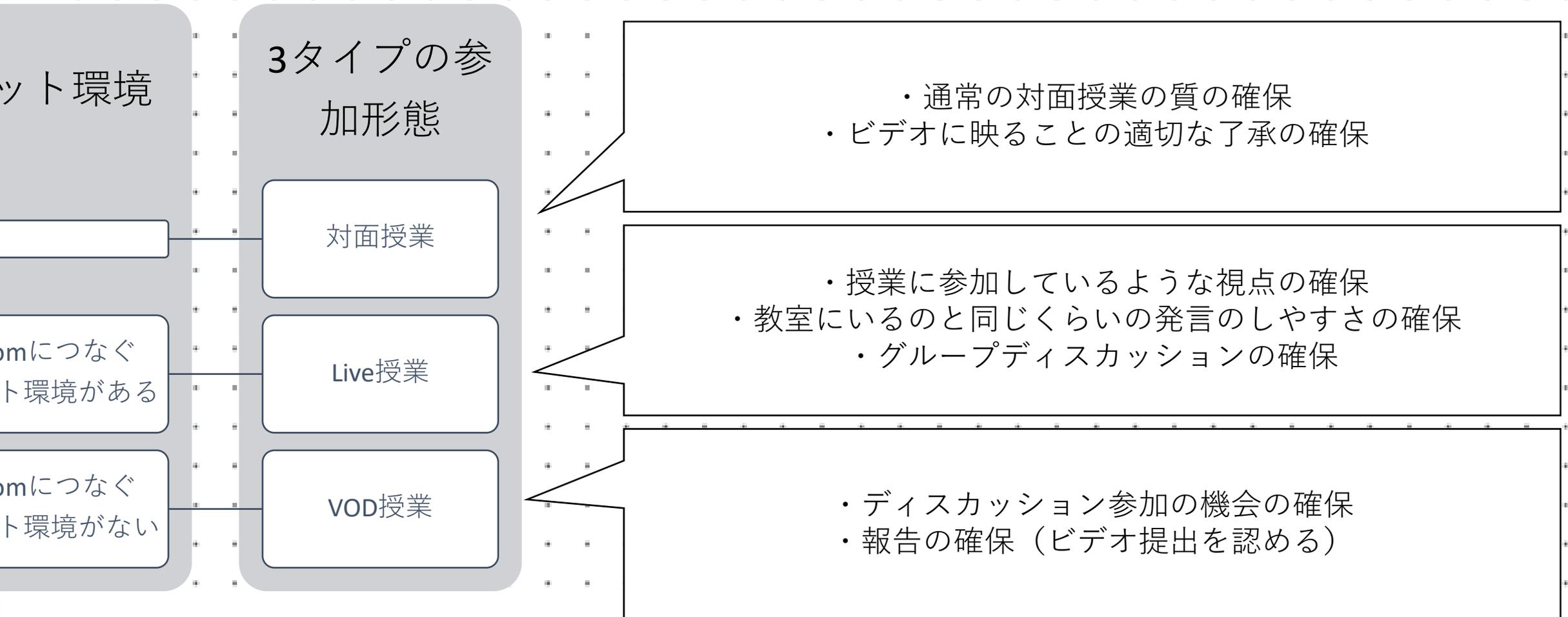
- 「**基礎演習**」
 - 1回生向けの小集団科目
 - 24名
 - 学生によるプレゼンテーションとレポート作成がメイン
 - 面談、図書館ツアーも
- 「**国際関係学セミナー**」
 - 2回生向けの小集団科目
 - 16名
 - 外国文献講読とプレゼンテーション
- その他...英語によるWeb授業（Live授業）



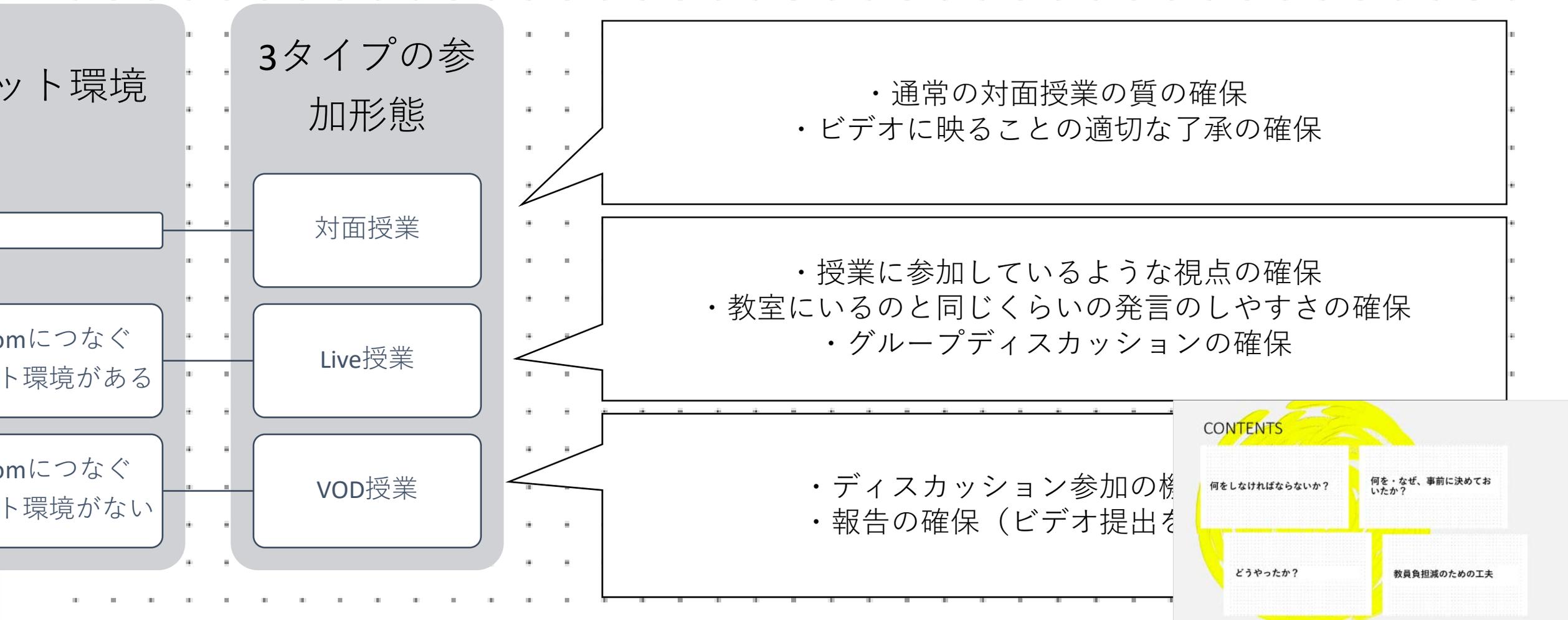
何をしなければならないか



何をしなければならないか



何をしなければならないか



何を・なぜ、事前に決めておいたか？

何を・なぜ、事前に決めておいたか？

• 「ハイブリッド授業における私の指針」

• 何を決めたか

- 進むべきと考える基本的な方向性
- 判断に迷ったときに立ち戻れる指針
- 指針に沿って、必要な機材、機能、スキルを獲得していった

• なぜ指針が必要か

- 迷っている時間がない
- 説明責任

• いつ決めたか

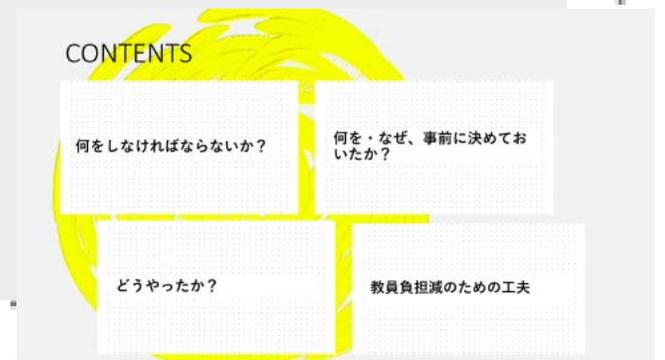
- ハイブリッド授業をすることになって早い段階
- 実践を通じて修正



ハイブリッド授業における私の3つの指針

- 指針1 公平であること
- 指針2 受講生に無理をさせない・不安がらせないこと
- 指針3 受講生の都合に関する真実を追求しないこと

この指針をどのように設定するかによって、ハイブリッド授業を「どうやるか」がきまってくる



どうやったか？

ハイブリッド授業における私の3つの指針

- 指針1 公平であること
- 指針2 受講生に無理をさせない・不安がらせないこと
- 指針3 受講生の都合に関する真実を追求しないこと

この指針をどのように設定するかによって、ハイブリッド授業を「どうやるか」がきまってくる

指針 1 公平であること

- 異なる参加形態ごとに学びに差をつけない
 - 例) 複数デバイスを用いたグループワーク
 - Zoom参加者を班ごとにブレイクアウトルームに分ける
 - 異なるデバイス（学生のものもふくむ）を班ごとにブレイクアウトルームに割り当てる
 - ヘッドフォンオーディオスプリッターを使用してグループワークでも音声を聞き取りやすいようにした



指針 1 公平であること

- 異なる参加形態ごとに学びに差をつけない
 - 細かな気配りが必要になる
 - 例) 板書をするときは共有をOFFにする
 - カメラアングルを常に気にする (授業開始時に教室全体を見渡す、講義中は学生目線 (PC 付属カメラの方がよい場合も))

指針 1 公平であること

- すべての参加形態において学生からのインプットを要求すること
 - 対面/Live/VOD参加に関わらず、毎回学生からのフィードバックはmanaba+Rの「プロジェクト」に提出することで統一
 - VODで報告した学生についても「プロジェクト」ページでフィードバック

指針 1 公平であること

● 成績評価

- 「**基礎演習**」：100%平常点
 - グループ報告2回（パフォーマンス、コンテンツ、クオリティの3点から）50%
 - レポート2回50%
 - 毎回の「総括シート」⇒出席
- 「**国際関係学セミナー**」：100%平常点
 - 個人報告2回（パフォーマンス、コンテンツ、クオリティの3点から）50%
 - 発言（授業中+manaba+R上のコメント）50%

ハイブリッド授業における私の3つの指針

- 指針1 公平であること
- 指針2 受講生に無理をさせない・不安がらせないこと
- 指針3 受講生の都合に関する真実を追求しないこと

この指針をどのように設定するかによって、ハイブリッド授業を「どうやるか」がきまってくる

指針 2 受講生に無理をさせない・不安がらせないこと

- 不安に感じた場合に、すぐに選択・変更できること
 - 対面授業に行くつもりだったが新型コロナ感染者増加のニュースを見て不安に思い変更した場合
 - 例) 報告担当者でVODしか無理な学生→**自宅でビデオを作成し**、教員に送信してもらった
- 代替手段があること (**必要な時だけでなく、常に用意**)
 - 対面授業に間に合わなかった→Live授業、またはVOD授業で参加
 - 前後の授業がLive授業のため対面授業に来るのは負担→Live授業、またはVOD授業で参加
 - 緊急時：Live授業中に回線がおちた→VOD視聴可能

指針 2 受講生に無理をさせない・不安がらせないこと

- 授業時間になってもzoomが開いていないと学生が不安になるので、ミーティングルームは無効化、授業時間までには自分も入室することを優先する
- Zoomがダウンしたときのために複数デバイスを用意（ノートPC、iPad、iPadスタンド） + （緊急時は個人スマホの4Gで対応）
- 授業内容・報告内容に集中できるような環境づくり
 - カメラOFFの方が集中できる？

ハイブリッド授業における私の3つの指針

- 指針1 公平であること
- 指針2 受講生に無理をさせない・不安がらせないこと
- 指針3 受講生の都合に関する真実を追求しないこと

この指針をどのように設定するかによって、ハイブリッド授業を「どうやるか」がきまってくる

指針 3 受講生の都合に関する 真実を追求しないこと

本当にコロナが不安なの？ たんにさぼりたいだけじゃ・・・？
対面にもLiveにも来ない・・・授業がつまらないのか・・・？



- 教員の問題ではなく学生の問題と理解する
- 真実の追求は不可能

指針 3 受講生の都合に関する 真実を追求しないこと

本当にコロナが不安なの？ たんにさぼりたいだけじゃ・・・？
対面にもLiveにも来ない・・・授業がつまらないのか・・・？



- 教員の問題ではなく学生の問題と理解する
- 真実の追求は不可能

CONTENTS

何をしなければならないか？

何を・なぜ、事前に決めておいたか？

どうやったか？

教員負担減のための工夫

教員負担減のための工夫

①効率化

- 毎回のセッティングの効率化
 - ノートPC、iPad、iPadスタンド、スプリッター等を一つの袋に入れておく
 - 優先順位を決めておく
 - 教室ですべて起動しwifiセッティングの後にzoomに接続⇒**zoomミーティングルーム入室**を優先
 - Zoomの設定を完璧にしておく
 - 待合室を無効化
 - 入室時にベルが鳴るように設定
 - 1授業につき同じルームを1セメスター使い続ける
 - (録画を忘れてしまう場合) 自動録画の設定にしておく

①効率化

- VODフォロワーの効率化
 - Zoomクラウド（以前は個人PCへ）にあがった録画ファイルをダウンロード
 - Panoptoにアップロード（Google Chromeの場合下のツールバーに表示されるので簡素化できる）

①効率化

- VODフォローの効率化
 - Panoptoへのリンクをmanaba+Rに掲載
 - 毎回新規ページを作成すると、前の動画へのリンクを消し忘れるので、1つのページを編集していくスタイルに

②学生・TAさんのサポートを借りる

- 学生からの精神的なサポート
 - テクニカルなミス⇒慣れるしかない？
 - レコーディングボタン押し忘れ
 - マイクミュートのまま
 - Zoomがダウンしていることに気が付かずに進行...
 - 気が付いた学生に指摘してもらうような環境づくり
- サポートスタッフの活用

③ハイブリット授業のメリットを確認する

- 学生から：
 - 遠隔からでも知的交流を経験できる
 - 対面参加の学生とLive参加の学生がグループワークで交流（iPadごしに集合写真など）
 - Manaba+Rの「プロジェクト」で、対面授業に参加している学生とVOD参加の学生が意見を交換

③ハイブリット授業のメリットを確認する

- 教員から：
 - 感染症対策しつつ、対面で学生の反応を見ながら授業できる

CONTENTS

何をしなければならないか？

何を・なぜ、事前に決めておいたか？

どうやったか？

教員負担減のための工夫

ご清聴ありがとうございました。

越智 萌

Megumi OCHI

mtr19136@fc.ritsume

i.ac.jp